



日 時：2019 年 6 月 23 日（日）

場 所：南丹市園部町仁江

天 候：晴れのち曇り

参加者：約 80 名（25 家族） その他スタッフ多数 本会講師陣 16 名

今年は晴れ！ 近畿地方の梅雨入りが遅れた令和元年でした。

昨年とは打って変わり、5 月の田植え編に続いて今回の草取り編も晴れてひと安心です。また、自然観察の講師陣一同は 1 週間前の下見に加え、当日の最終下見で各自の役割を再確認して準備万端です。

予定では、田んぼエリア/里山エリアの自然観察ツアーとワンポイントスクールやミニミニ水族館の準備に加え、模型を用いたオトシブミの解説に手作りのイタドリ笛など内容も豊富です。

開始時間にはみんな元気な笑顔で再開です。 さ、自然観察スタート！

直ぐに、ネットの所で雌のコガネグモが出迎えていました。食事中でしたが巣の形や隠れ帯の説明をしました。他にもゴミグモやクサグモなどを見つけましたが、皆さん捕まえるまでには至らず。残念！（私はホッとしました。）

周りの景色に目をやると、ツバメが低く飛んでいたのが天候や餌になる虫の話をしました。動物では、田んぼの中についたシカの足跡の他に 5 本指の足跡を発見しアライグマの存在を予測。また、橋げたの所で何種類かの糞を発見。他にも泥で汚れた草の道（獣道）を確認できました。田んぼの周りには、姿が見えなくても共存している動物たちのことが実感できたのではないのでしょうか。

里山エリアでは、クリの赤ちゃんを観て感激したり、フジの大きなサヤを触ってその手触りの良さに驚いたりしました。本物のオトシブミを観ながらその解説を聞くと、小さい虫なのに凄いことをしてるんだなと一同感心です。時間を気にしながらも、折り返しのダムではモリアオガエルの卵を観察してもらった後、下り道はイタドリ笛を吹く子供たちと楽しくテントまで戻りました。

テントでは清水代表によるワンポイントスクールが開催され、子供たちは実際にサンショやドクダミなどの匂いで顔をしかめ、クチナシの花の甘い香りには満足げです。動けない植物のコミュニケーションについて少し分かったかな？。大人も交えてみんな楽しそうに参加していました。



バッタ、トンボ、カエル…子供たちの興味はつきない



イタドリ笛あちこちでピーピ



シュレーゲルアオガエルの卵塊おそろおそろさわってみる
「うわっ、魅みたい・・・」

草むらと田んぼの水路では子供たちが大はしゃぎです。奇麗に咲いたアザミやウツボグサ、ミヤコグサは動くものには敵いませんでした。まず、田んぼの畦に有ったシュレーゲルアオガエルの卵に触れ少し硬くなったメレンゲの感触を実感してもらった後です、後側の水路にいたオタマジャクシを観て歓喜のお叫び。網ですくって採れたその姿も色々あり、お母さんも驚きでした。子供はまた見つけました。アカハライモリです。網で1匹、2匹と捕らえて観察ケースに入れます。これにはお母さんが絶句。更に娘さんがアカハライモリを手を持ってケースから出しているのを見て、お母さんから悲鳴のような声が。この後、記念写真を撮っていました。帰ってから誰かに見せるのでしょうか。

採取した生き物は田んぼの周りで逃がしてあげます。その後ミズキの葉でお化けの顔を作ってもらい、気持ちを落ち着かせて自然観察ツアーは無事終了です。私も元気な子供たちと楽しく過ごせた一日でした。収穫編でまた会いましょう。

追記、みんなが植えた稲にイネドロオイムシが発生していて、葉先が薄茶色く成っていたことを記載しておきます。頑張れ稲。(古結)



ワンポイントスクール
今日のテーマは「草木はなぜ香りを放つのか？」
サンショ、クサギ、シキミ、ドクダミ、クチナシの花
たたいたり、ちぎったりすると香りを出すもの、何もしなくても香るものなどを匂いだり触ったり



背中にエエモンついてるで！



オトシブミの作り方講習会 小さな虫の力に感激！



モリアオガエルの卵塊観察 みんな真剣



栗の赤ちゃん発見！



コモチマンネングサ



カワラマツバ（花のアップ）



普段は触ったこともない異世界
新鮮で貴重な体験！！



ベニシジミ



ウマノアシガタ



ホタルガ



ウツボグサ



ノアザミ



ミヤコグサ



誰の足跡？ アライグマ？